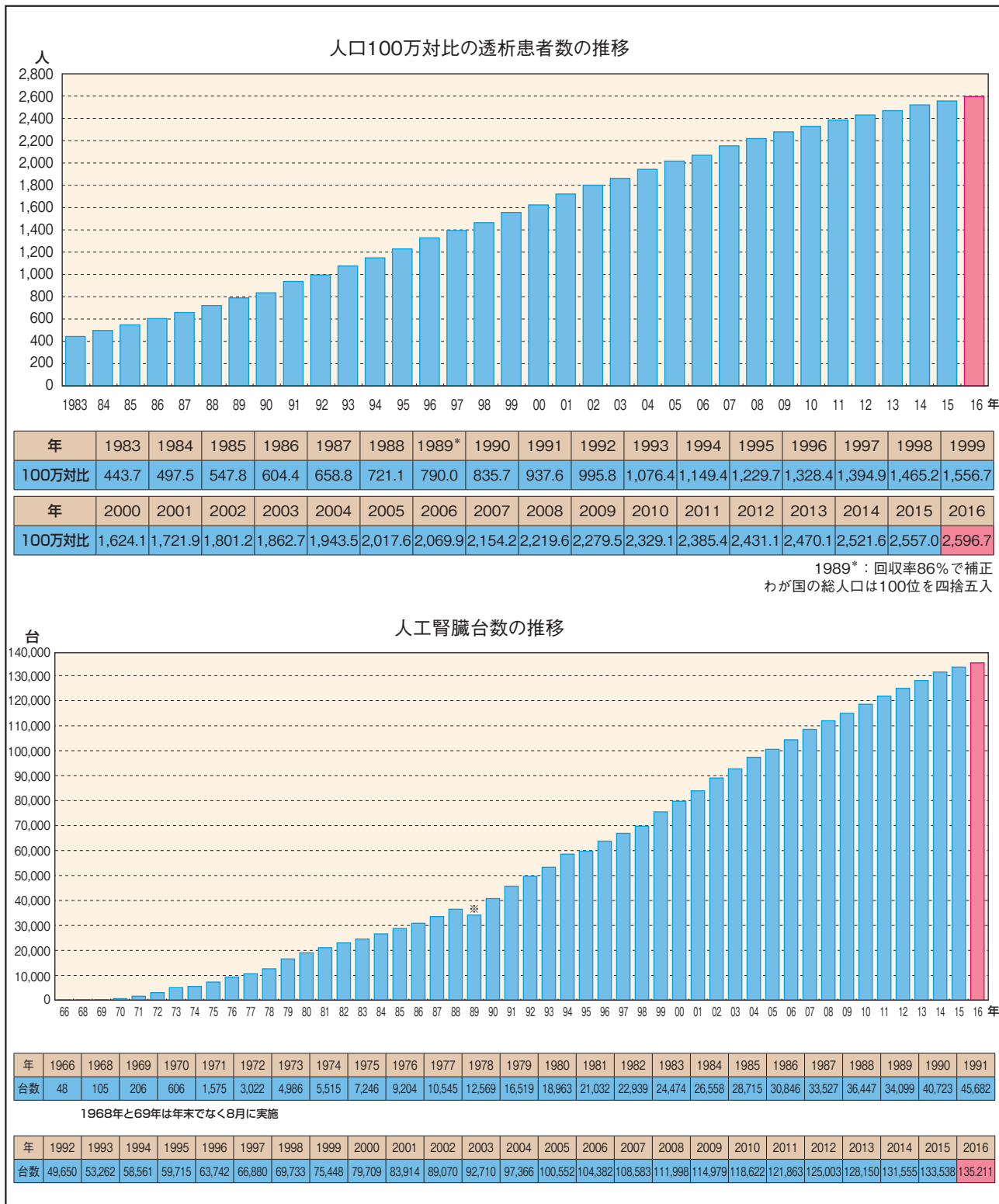


# 1) 慢性透析療法の現況

## (4) 人口100万対比の透析患者数および人工腎臓台数の推移 (図表4)



施設調査による集計

### 解説

人口100万人あたりの透析患者数は2,596.7人であり、前年より39.7人増加し、国民385.1人に1人が透析患者に相当する。日本の人口は2011年以降減少に転じていることもあり、人口対比率は年々増加している。

2016年の人工腎臓（ベッドサイドコンソール）台数は135,211台であり、前年（133,538台）より1,673台増加した（※1989年の患者数の減少は、当該年度にアンケート回答率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響である）。